

【月案】1月・0歳児

今月の保育のポイント

- 1番の目標は心地よく過ごすこと。休み明けで不安定になったり崩れる子どもは必ずいるので、イライラする子、甘える子、動きたい子それぞれ認めてあげることが大切。触れ合い遊びを通して心を通わせ、安心してすごせるようにする。
- 子どもが歩き始め、子どもの行動範囲が広がってきたので、職員同士で連携をとりながら危険のないように見守っていく。噛みつきも出る時期なので、子どもの興味あるものや様子を観察しておく。
- 子どもの指差しや声を出して知らせる行為には、丁寧にに関わり、気持ちを共有しやり取りを楽しむ。
- 体調管理には気を付ける。感染症予防のためにも保育士、子ども共に手洗いをしっかり行う。ぼーっとしている、理由なく泣く、身体がちょっと温かい子どもは要注意。連携して見る。

月のねらい

- 生活リズムを整え、元気に過ごす
- ゆったりした雰囲気の中で、保育者と触れ合いながら遊びを楽しむ
- 着替えなどの身の回りのことに興味を持ち、自ら行おうとする
- 指差しや身振り等で自分の気持ちを伝えようとする
- 体全体を動かして遊ぶことを楽しむ
- 友達と触れ合ったり一緒に過ごすことの楽しさが芽生える

週のねらい

その1

- 1週目：保育者がいる安心感の中で、元気に過ごす（養護）
- 2週目：歩いたり、立ったりしながら動くことを楽しむ（教育）
- 3週目：やりたい遊びや活動を思う存分楽しむ（教育）
- 4週目：しぐさや行動で気持ちを表そうとする（養護）

その2

- 1週目：伝統遊びを保育者と一緒に楽しむ（教育）
- 2週目：保育者との関わりを通して簡単な言葉のやりとりを楽しむ（教育）
- 3週目：天気の良い日は戸外に出て十分に体を動かす（教育）
- 4週目：ズボンを履くなど簡単な着替えを自身でやってみようとする（養護）

その3

- 1週目：年末年始休暇の疲れに配慮し、心地よく過ごせるようにする（養護）
- 2週目：保育者と一緒に、安心した気持ちで餅つき会や鏡開き会に参加する（養護）
- 3週目：絵本やパネルシアター等を見ることを楽しむ（教育）
- 4週目：マットや滑り台、コンビカー等の運動用具を使って遊ぶことを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：砂や落ち葉、霜、氷等に興味を持ち触れながら遊ぶことを楽しむ（教育）
- 2週目：手先を使って遊ぶことを楽しむ（教育）
- 3週目：保育者と一緒に手を洗ったり、水分補給をしながら健康に過ごす（養護）
- 4週目：保育者の仲立ちのもと、友達と同じ遊びをしたり一緒に過ごすことを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- クリスマス会に参加し、歌や踊りに合わせて楽しそうに身体を動かしたり声を発したりする姿がある。
- 保育者や友達がいる環境に安心感をもち、安定した情緒で過ごしている。
- 午前睡がほとんどなくなり、午後まで元気に過ごす子どもが増えてきている。
- 苦手な食べ物に敏感になり、見えると嫌がる。
- 保育者に食べさせてもらわなくても自ら食べ進められるようになり、スプーンやフォークを使って意欲的に食事をしている。
- トイレに誘うと意欲的にオマルに座る子もいるが、嫌がって逃げてしまう子もいる。
- 自らズボンやオムツ、エプロン等の着脱をしようとする。
- 自分のロッカーが分かり、オムツやタオル等を取り出そうとする。
- 運動面が発達し、テーブルに登ろうとしたり、椅子の上に立とうとする。
- 週明けや週末は疲れが見られ、抱っこやおんぶを求めたり、泣いて過ごすことがある。
- 冬ならではの感染症に罹り、体調が優れなかったり、欠席が続いた。
- 保育者と一緒に手を洗うことに意欲的だったり、水が冷たいことで嫌がる姿が見られた。

教育（遊び）

- 自分のやりたいことができない時には、泣いて表現する子どもがいる。
- 気に入った玩具を常に手に持ち、喜んでいる。
- 戸外へ出ることを楽しみにし、喜んで外へ出る姿がある。
- 歌や手遊びを楽しそうに聞き、手を叩いたり身体を動かしたりしている。
- ブロックを高く積んだり壊したりすることを繰り返し楽しんでいる。
- 楽しいことや興味のあることは何度も行い、その際には「もう一回」など態度や言葉で伝えようとしている。
- 友達を認識し始め、「○○くんどこな」と問うと、指差しをする。
- マットやトンネル、コンビカー、滑り台等で遊び、歩く・のぼる・くぐる等体を動かして遊ぶ。
- シールを貼ったり、剥がしたりすることができるようになる。口に入れようとするものが減ってきた。
- 絵本の絵を集中して見たり、言葉の繰り返しに笑う姿がある。「読んで」と保育者に差し出す。
- 友達が使っている玩具に興味を示し、思わず取ってしまう。
- ままごとの玩具を食べる真似をしたり、人形をおんぶして「いってきます」「バイバイ」等の身振りを見せる。

活動内容（3つの視点对応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**食事を楽しみにし、援助がなくてもスプーンやフォークを使って自ら食べ進めようとする。（健やか）
環：食事の際には手づかみで食べてしまう子もいるが、子どもの「食べたい」という気持ちを大切に、注意し過ぎないように配慮する。必要に応じてスプーンなどがあることを伝え、子どもが自ら使ってみようとする気持ちを引き出す。また、「いただきます」や「ごちそうさま」の時には保育者がやって見せ、子どもと一緒にできる環境を常に作っておく。
- **活：**靴や衣類の着脱など身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする。（健やか）
環：食べこぼしたものはその都度拾うようにし、綺麗な環境の中で食事ができるようにする。
- **活：**オムツの汚れや不快感に気づき、自ら保育者に伝えようとする。（健やか）
環：オムツを替えるのを嫌がる子には無理強いせず、楽しい雰囲気の中で誘うようにする。
- **活：**保育者や友達とスキンシップをとる中で、安心感を持って過ごす。（ヒト）
環：休み明けで生活リズムが整わず、情緒が不安定になってしまう子どももいる。一人ひとりの体調や情緒を把握し、ゆったりスキンシップを取りながら関わる時間を設ける。
- **活：**保育者や身近な人からの要求に対して、言葉や行動でのやりとりをする。（ヒト）
環：「今からおむつを取って、おむつを替えるね」等、動作に言葉を合わせ、言葉と合わせて視覚で伝えていく。
- **活：**衣服を取り換えてもらう、暖かい部屋から寒い外へ行くなどの経験から、寒暖の差を経験し健やかに過ごす。（健やか）
環：室温を20度ほどに保ち、暑すぎないようにする。戸外では服の中に指を入れて適切な保温かを確認する。
- **活：**自分で上着を持ってくる、帽子を頭に乘せてみるなど、普段使う物に興味をもつ。（モノ）
環：帽子を足に乘せていたり、子どもの試す姿を否定せず認めながらも「これは帽子だね」と保育者が自らの頭に乗せるなど、その物の役割を示す。
- **活：**適切な休息、食事を摂り、心地よく過ごす。（健やか）
環：年末年始休暇中の家庭での様子を共有し、休息や食事の時間を調整し、心地よく園生活を送れるようにする。機嫌や食欲に留意しながら体調の変化にすぐに対応できるようにする。
- **活：**正月料理に興味を持ち、触れたり、食べてみようとする。（健やか）
環：慣れない料理に食べ進まない様子を受け止めながら、「これは○○だよ。美味しいよ」等と料理名を知らせながら介助したり、手で触って確かめる様子を受け止める。興味を持つ姿を大切に無理のないよう関わる。
- **活：**鼻水に気づき、保育者に知らせたり、拭いてもらいながら清潔にする心地よさを感じる。（健やか）
環：「教えてくれてありがとう」と伝えながら鼻拭きをしたり、一緒に拭いてみることで清潔にする気持ち良さに繋げる。鼻水に気付かず遊んでいる時には「お鼻拭こうね。気持ちいいね」と言葉かけしながら拭き取る。
- **活：**オムツが濡れていない時にはオマルに座って排泄してみようとする。（健やか）
環：「おしっこ出ないからオマルに座ってみよう」と言葉かけし、保育者が見守ることで安心して座れるようにする。座れたことを認めて喜びに繋げ、無理なくトイレトレーニングを始められるようにする。
- **活：**保育者と一緒に手洗いをし、清潔にする心地よさを感じる。（健やか）
環：「バイキン、バイバイしようね」と保育者と一緒に手を洗い綺麗にする気持ち良さに繋げる。水の冷たさを嫌がる時には、ぬるま湯にしたり、保育者の手で包み込みながら洗い、嫌な気持ちを軽減出来るようにする。

- **活：**保育者と一緒に遊んでいた玩具を片付けようとする。（モノ）
環：歌をうたったり、片付け用の箱を用意して保育者が片付け方を示すことで、視覚、聴覚から片付けの時間を知らせる。「お片付けありがとう」と言葉かけし、片付けることの楽しさや習慣化に繋がれるようにする。
- **活：**保育者に見守られながら、安心した気持ちでまとまった時間眠る。（健やか）
環：保育者が体に触れながら安心した気持ちで入眠出来るようにする。眠りが浅くなって来た際には、再入眠できるよう眠る時の癖を把握しながら対応し、十分な睡眠をとれるようにする。

教育（遊び）

- **活：**寒さに負けず、戸外で身体を動かすことを楽しむ。（健やか）
環：子どもが楽しんでいる遊びに寄り添いながら遊び、一緒に繰り返し遊ぶことでしっかりと楽しめるようにする。
- **活：**戸外では、砂や石、葉っぱなど自然に触れながら遊ぶことを楽しむ。（モノ）
環：子どもが興味を示したものを一緒に楽しみ、「葉っぱがあるね」など代弁しながら発見を喜べるようにする。
- **活：**保育者に指差しや発声で表現しながら、発見したものなどを伝えようとする。（ヒト・モノ）
環：「ここにあるの見たんだね」等、子どもの気づきにしっかりと寄り添い言語化する。
- **活：**好きな遊びを繰り返し行い、遊びや活動に満足感を感じる。（健やか）
環：触れ合い遊びで気に入った遊びを繰り返し行う他、自由遊びの場で楽しそうに喜んでいる時は「もう1回やってみようか」等、子どもの気持ちに寄り添っていく。
- **活：**保育者とのスキンシップを通して、人と関わる楽しさを感じる。（ヒト）
環：ゆったりした時間を設けることで一人ひとりとスキンシップをとり、情緒の安定をはかる。人と関わる際には無理強いせず、子どもの気持ちを見極めながら楽しめる時に機会を設けるようにする。
- **活：**坂道、凸凹道、砂利道など、色々な道を歩く、這うことで手足からの刺激を受け、体幹のバランス力を養う。（健やか）
環：散歩コースにて安全面で使えるような場所を見定め、保育者が進んで砂利の音を鳴らしたり、子どもの興味関心を引き出す。
- **活：**こまや福笑い等、1月の文化的な遊びに触れる。（モノ）
環：誤飲の心配が少ない大きなこまや福笑いのパーツ等を保育室に置き、実際こまを回してみたり、子どもがつまむ、持つ等の触れ合える環境をつくる。
- **活：**保育者を介して友達とおもちゃや遊具等で遊び、発語して保育者、友達を求めて呼ぶ（ヒト）
環：一緒に空間で保育者が積極的に遊ぶことで、まなざしや身振り手振り、言葉で気持ちを確かめ合う関係を深める。
- **活：**保育者や絵本等の簡単な単語を真似してみようとする。（ヒト）
環：分かりやすく口元を動かしながらはっきりとした言葉で関わることで、発語へ繋がれるようにする。発語を大いに褒めて、言葉にする楽しさを感じられるようにする。
- **活：**保育者と一緒に身近な生活体験を取り入れて遊ぶことを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：食事や買い物等の身近な生活体験を取り入れて、簡単なごっこ遊びを楽しめるよう関わり、「いただきます」「おいしい」「いってらっしゃい」等、発語や身振りを引き出せるよう関わり、楽しさを共有する。
- **活：**音楽に合わせて体を動かしたり、手作り楽器を使って遊ぶことを楽しむ。（モノ）
環：親しみのある音楽や持ちやすく簡単に音が鳴る楽器を用意しながら、自由に表現出来るようにし、一人ひとりの表現を笑顔で受け止めて楽しさや面白さに繋げる。

- **活：**シール遊びやなぐり描き等、手先を使った遊びを楽しむ。（健やか・モノ）
環：誤飲のないように少人数ずつ遊んだり、十分な数の保育者が見守ることで手先を使った遊びを楽しめるようにする。集中している姿を見守り、集中力を育めるようにする。
- **活：**友達に興味を持ち、行動を真似したり、触れ合うことを楽しむ。（ヒト）
環：「○○くんと一緒だね」「まねっこするの楽しいね」と友達と過ごす楽しさを感じられるよう関わる。力加減が分からず、危ない姿が見られることもあるため、側で触れ合う姿を見守る。
- **活：**新聞紙や毛糸、ビニール袋等の素材に興味を持ち触れてみようとする。（モノ）
環：保育者が素材に触れる姿を示しながら興味を引く。誤飲に留意し、「ガサガサ音がするね」「フワフワだね」と気持ちを代弁しながら、様々な素材に触れて遊ぶ楽しさに共感する。
- **活：**つたい歩きや歩行しながら、探索活動を楽しむ。（健やか・モノ）
環：様々な場所や物に興味を持ち、自ら触れて遊ぶ姿を笑顔で見守り、満足感に繋げる。探索する場や物の安全に留意する。
- **活：**保育者の手遊びを見て、模倣してみようとする。（健やか・ヒト）
環：模倣しやすい手遊びから繰り返し、ゆっくりはっきりとした歌、体の動きで興味を引く。姿を温かく認めながら、コミュニケーション能力を育んだり運動発達に繋がられるようにする。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 室内の温度調節をこまめに行い、快適に過ごせるようにする。
- つかまり立ちをしたり、2、3歩歩いてみたりする子がいる一方で、活発に走ろうとする子もいる。バランスがうまく取れない時期であるため、子ども同士がぶつかって怪我にならないよう、自由に遊ぶ際には広い視野をもって見守る。
- 子どもの歩きたい気持ちを抑えないよう、マットを敷くなどして安全な環境を整えておく。
- 鼻水が出たりヨダレが垂れたりしている子には声を掛けてから拭き、「綺麗になったね」「スッキリしたね」など伝えることで清潔にする心地よさを感じられるようにする。
- 室内外での衣類の調整や室内の清潔さを保ち、流行性の風邪の予防に努める。
- 機嫌、食欲に留意し、全身状態を確認したり検温しながら体調の変化に迅速に対応できるようにする。
- 保育者が感染を媒介しないよう、小まめに手洗い、消毒を行う。
- 運動発達によって、遊ぶ部屋を仕切ったり、部屋自体を分けたりしながら安全面に配慮し、一人ひとりが伸び伸びと体を動かせるようにする。
- 噛みつきや友達を押す、ひっかく等の姿が見られる子を職員間で共有し、危険のないよう見守る。
- ズボンの裾やトレーナーの長さに留意し、折ったりしまったりしながら安全にハイハイやつかまり立ち、歩行が出来るようにする。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 毛糸で雪の結晶制作／作って遊べる凧制作／ししまい制作

歌

- ゆき／ゆきのこぼうず／どこでねるの

絵本

- だるまさんシリーズ「が・の・と」／くつついた／もうおきるかな？

手遊び

- トントントントンひげじいさん／いとまき／てんぐのはな

室内室外遊び

- ハイハイ鬼ごっこ／洗濯ばさみで遊ぼう／はさみ不使用！簡単風揚げ

行事

- お餅つき
- 誕生会
- 避難訓練
- 元日(1月1日)
- 書き初め(1月2日)
- 人日の節句(1月7日)
- 鏡開き(1月11日)
- 成人の日(1月第2月曜日)

食育

- 絵本などを通して、様々な食材に親しむ。
- 食べさせてもらったり、手づかみで食べることを喜ぶ。
- 「いただきます」などの挨拶の言葉やしぐさを知り、自分なりに表現しようとする。
- お餅つきに参加し、食材に興味を持つ。
- スプーンやフォークに興味を持ち、使って食べることを楽しむ。
- 十分な咀嚼をしながら食べることを楽しむ。
- 保育者と一緒に食前食後に手や口を綺麗に拭き、気持ち良さを感じる。
- 保育者の励ましのもとで、様々な食材や料理を食べてみようとする。

地域と家庭との連携

- 連休中の子どもの様子を伺い、園生活に無理なく戻れるよう配慮していく。
- 動きも少しずつ活発になってくるので、動きやすい服の準備をお願いする。
- 流行性の感染症予防のため、子どもの細かな体調の変化をお知らせする。また、家庭での体調などもうかがえるよう保護者としっかりコミュニケーションをとる。
- 簡単な衣服の着脱に取り組み始めていることを伝え、着脱しやすい衣服の用意をお願いする。
- 言葉が出ない分、友達に噛みついたり、ひっかいたりすることがあることを知らせ、園と家庭で様子を見守っていけるようにする。また、その際、家庭や園での関わり方を共有する。
- 散歩をする際には、子ども達と一緒に地域の方と新年の挨拶を交わし、日頃の感謝を伝えることで今後も地域の方とともに子どもの成長を見守っていけるよう働きかける。

自己評価

- 子どもが安心して過ごすことができていたか。
- 人との関わりを持ち、スキンシップを楽しくとることができたか。
- 着替えや排泄などでは子どものやりたい気持ちを引き出し、自ら行おうとする姿が見られたか。
- 戸外での発見を喜び、様々なものに興味を示していたか。
- 一人ひとりが好きな遊びを繰り返し楽しむ時間をしっかりと持つことができたか。
- 子どもの体調不良に気づき、迅速に対応することができたか。
- 安全で清潔な環境を作ることができたか。
- 一人ひとりの様子に応じて、十分な睡眠や食事ができるよう配慮できたか。
- 発語や身振りに繋がるような関わりができたか。
- 食材に興味を持ちながら、楽しい食事の時間を過ごせるよう配慮したか。
- 運動の発達に差があることを理解し、一人ひとりが伸び伸びと体を動かせるよう工夫したか。
- 保護者の相談や悩みに共感できたか。